

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	NewStep大阪3rd江坂教室		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月20日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	・運動療育を中心とした活動では、反復プログラムと新しいプログラムを織り交ぜ、児童が楽しみながら参加できるようなプログラムを工夫している。また、祝日・長期休暇時は様々な体験学習や制作・調理・課外活動を積極的に取り入れ、課外活動等も固定化しないよう工夫している。	・児童が楽しみながら活動に取り組み、周囲と達成感を共有し、自信に繋げていけるよう活動プログラムの充実化を図る。また、児童が様々な経験を積めるよう目的を設定した体験学習や課外活動を企画、実施していく。
2	職員間での情報共有	・様々な資格や経験がある職員を配置しており、各職員の得意分野を活かして活動プログラムの立案や支援を行っている。また、様々な資格をもつ職員の多角的な視点から児童の課題の把握、情報・意見交換を行っている。	・多角的な視点から児童の課題の把握、支援内容の共有を行い、各職員の資格や長所を活かした幅広い支援が提供できるよう連携強化を図る。
3	職員の研修機会の確保	・事業所内、法人内での定期的な研修を実施し、外部研修にも積極的に参加している。	・法人各委員会主催の定期的な研修に加え、職員のスキルアップを含めた外部研修への参加等、研修機会の充実化を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会	・課外活動や地域の公園での交流はあるが、地域交流の機会は十分とは言えない。	・保護者の様々なニーズを伺いながら、安全面を考慮し、交流内容や方法、時間等を含め、地域との交流について検討を重ねる。
2	各マニュアルや訓練等実施についての保護者への周知	・各マニュアルを策定し、定期的に研修、訓練等を実施している。契約時に説明を行っている部分はあり、各マニュアルに関して保護者会で閲覧の機会を設けているが、全保護者に対する周知には至っていない部分もある。	・事業所で取り組んでいるマニュアルに基づいた研修や訓練の実施報告を会報等を通じて発信し、保護者への周知を図る。
3	ペアレントプログラム等の提供	・保護者からの面談や相談は随時受け付け、実施しているが、ペアレントプログラムに関して十分と言えない部分もある。	・保護者の希望を伺いながら、ペアレントプログラム等を含めた幅広い支援が提供できるよう改善を重ねる。